

# ティーチング・ポートフォリオ

筑波学院大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科  
高田 亮

## 教育の責任（2021年度担当科目）

科目名	対象 学年	受講 人数*	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
留学生日本語 A1⑪	1	13	講義	必修	総合教養科目群・外国語科目
留学生日本語 A1⑭	1	13	講義	必修	総合教養科目群・外国語科目
留学生日本語 A2⑪	1	13	講義	必修	総合教養科目群・外国語科目
留学生日本語 A2⑭	1	17	講義	必修	総合教養科目群・外国語科目
留学生日本語 B1⑪	1	13	講義	必修	総合教養科目群・外国語科目
留学生日本語 B2⑪	1	13	講義	必修	総合教養科目群・外国語科目
留学生日本語演習 C	1-4	9	講・演	選択	総合教養科目群・外国語科目
留学生日本語演習 D	1-4	13	講・演	選択	総合教養科目群・外国語科目
基礎ゼミ 1	1	11	講・演	必修	入門科目群
基礎ゼミ 2	1	11	講・演	必修	入門科目群

## 教育の理念

学生には最終的に「自律学習者」になってほしいと思っている。つまり、単に他人から与えられた課題をこなすのではなく、大学の授業外であっても、大学卒業後であっても、学ぶ意欲を持ちつづけ、自分自身で「何をどう学ぶべきか」を考えられる人物になってほしいということである。そのため、学ぶことのおもしろさや、学びが社会や生活とどのようにかかわっているかを学生に伝えることが教員の責務であると考えている。

## 教育の方法

・日常生活で役に立つ日本語を教える。これにより、教室で学ぶことは教室外の実生活と「地続き」であることを学生に感じてもらう。授業中ではできるかぎり動画や写真などを見せて、授業で学んだ日本語が現実社会でどのように使われているか理解してもらい、教科書には載っていない俗語や略語なども必要に応じて紹介する。教室外でも日本語が学べる機会が多くあることを認識してもらう。

・学生にできるだけ日本語を話す機会を与える。日本語学習者の多くは同じ母語話者と過ごす時間が長く、教室外で日本語を使う機会が乏しい。そのため、授業中はペアワークやグループワークの時間を積極的に作り、実際のニュース映像を使いながら時事問題についてのディスカッションなども行う。このようにして、日本語を話すことに対する学生の恐れを軽減させ、日常生活でも日本語を臆す

ることなく話せるようになってもらう。

・学生に自己評価をしてもらう。自己管理能力、学習意欲、学習ストラテジーなど複数の観点から自己の学習に対して点数をつけさせ、内省を深めてもらう。これにより、自らの学びの問題点や強みへの気づきを促し、自律的、計画的に学習ができるようになってもらいたい。

### **教育の成果 および 今後の目標**

2021年4月に着任してまだ半年足らずのため「教育の成果」はまだ上がっていない。「今後の目標」は授業を通して語学を勉強することの楽しさを学生に伝えていくことだ。

### **参考資料**

なし